

令和6年度 第1回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和6年8月6日（火） 午後6時00分～午後7時40分
場所 仙北市西木庁舎2階201会議室
出席 出席委員12名（欠席委員6名）

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議 題

（1）学校適正配置に関する意見交換会の開催について（報告）

～事務局説明～

7月8日から22日にかけて、各小学校地区で開催し、合計55人が参加した。

「みんなが納得できるよりよい再編」をテーマに、教育委員会が示した4つの再編試案（A～D案）に関し、グループに分かれ各案のメリットや課題などについて意見交換した内容を報告。

※詳細は、市ホームページ>市民情報>教育>学校適正配置>説明・意見交換会>小・中学校適正配置に関する意見交換会（令和6年7月8日～7月22日）

委員長

4月の園・小・中保護者アンケートの結果では、A案（旧町村ごとに1校に再編）とD案（全市で1校に再編）は、各地区で「望まない」とする回答割合が高かったが、意見交換では長期的な視点からD案についても再編候補として話し合った方が良いという雰囲気だったことが分かりました。

委員

自分も参加したが、グループの保育園保護者からD案を希望する強い意見があって話し合いが進んでいた。

（2）学校再編の方向性と今後の進め方について

～事務局説明～

4月の保護者アンケート、7月の意見交換会を踏まえ、学校再編の方向性と今後の進め方を検討した。

事務局

A案は、望ましい人数規模の確保が難しくなる理由から、アンケート結果で「望まない」とする回答割合が高く、意見交換会でも非現実的とする意見がほとんどで、再編候補から外してはどうか。

B案（角館、生保内を単独とし、神代・西明寺・桧木内を1校に再編）については、生保内地区のアンケート結果では、単独と統合を望む回答が半々だった。市全体の再編を考える上でも、この判断は最初の大きな分岐点となる。そのため、9月から11月にかけて、生保内

地区の保護者を中心に地域住民とじっくり意見交換したい。

C案（角館を単独とし、他の4校を1校に再編）については、比較的望ましいと考える意見が多かった。

D案については、アンケートでは通学負担増への心配から「望まない」とする意見が多かったが、長期的に望ましい人数規模が確保される候補案であり、意見交換でも多くのグループで話し合われており、再編候補に残し検討していきたいと考える。

委員	校舎の長寿命化・大規模改修は、20年以上の長期にわたって使用することを前提としていることや、望ましい人数規模と将来予測を照らし合わせれば、D案（全市で1校）しか選択肢はないと思う。
事務局	望ましい学校規模を下回ってしまうことが想定されても、人数だけではない様々な観点からの検討が必要で、B、C案でいくという選択を妨げるものではないと考えている。
委員	スポ少の帰宅に合わせてスクールバス送迎するとして、活動場所が離れている場合への対応はどのようになるか。
事務局	スポ少団体側との相談になるが、活動場所を学校周辺に集約したり、終了時間を申し合わせるなどの調整を図っていきたい。 ただ、スポ少帰りにスクールバスを運行する例がなく、相当の検討が必要である。
委員	校舎の老朽化対策費用は試算されているが、統合に伴って必要になる増改築費用の試算はあるか。
事務局	試算の前提条件が整っていないため、算出は難しくできていない。
委員	検討会は、こどもファーストで考えることだったはず。コストの話も検討しなければならないのか。
事務局	こどもファーストであるが、例えば新築が良いといっても、数十億円単位の費用が必要で、市財政にとって現実的に難しい現状もあります。 現実離れしない検討をしていきたい。
委員	生保内地区の意向は、単独と統合が半々である。地域に学校が無くなることで衰退している例もみられる。大きい統合はメリットもあるが、地域が置き去りにならないか不安もある。
事務局	そのことを踏まえ、生保内地区については、保護者だけでなく地域住民も含めてじっくり意見交換していきたいと考えている。

委員 生保内地区で単独と統合が半々というのは、感情的なものもあると思う。検討会では、あくまでもこどもファーストで考えていくべき。

委員 部活動は多様化してきていて、スポ少では秋田市まで通っているケースもある。
始業時刻も、8時にこだわらず、今までのルールにとらわれず柔軟に考えることも必要ではないか。

委員 校舎の新築など財政的に厳しいものは検討資料に載せるまでもなく、この少子化の現状を考えると、市が考えを示していくべきではないか。

委員長 物理的に決めるのであれば、検討会の存在意義はなくなる。教育的な配慮が必要な場合や、地域コミュニティの維持のために学校の存続に配慮する場合もあると思う。

事務局 これまでの意見を踏まえ、この先は市が考える優先順位も示していきたい。

委員 再編の組み合わせが決まってから校舎を検討するのか。

事務局 今後、組み合わせと校舎は一緒に議論していきたい。

委員 市民意見交換会の資料に児童生徒数の予測が示されていて、令和17年度の人数の少なさに衝撃を受けた。今後説明の際には、こうした予測値を繰り返し示していった方がよい。

委員長 今日のまとめをする。今後は、A案を再編候補から外し、B、C、D案について、より具体的に検討を進めていくこととしてよいか。

(全員了承)

5 閉会